

地域経済の持続可能な発展を目指す会議について

1. 本会議の位置づけ

令和4年4月に制定した「世田谷区地域経済の持続可能な発展条例」において、4つの基本的方針（①多様な地域産業の基盤強化、②起業の促進及び多様な働き方の実現、③地域や社会の課題解決に向けたソーシャルビジネスの推進、④持続可能な事業活動及びエシカル消費の推進）を掲げ、地域の経済発展と地域や社会の課題解決を両立した持続可能な区民生活の実現を目指すこととしている。

本会議は条例に基づく区長の附属機関として、上記の基本的方針等を踏まえた地域経済の持続可能な発展に関する施策を推進するため、発展に係る指針等を調査審議することを目的としている。

2. 本会議の議論の方向性

令和6年3月に策定した「世田谷区地域経済発展ビジョン」全体の大きな方向性及び地域経済の持続可能な発展を目指す会議検証部会（以下「部会」という）で議論された内容を確認・検討する。なお、部会においては、主に世田谷区地域経済発展ビジョン（別冊）「ロジックモデル」と「ソーシャルインパクト指標」（以下「ロジックモデル」という）を用いて検証する。

3. 今年度のスケジュール

以下のとおり、年3回実施予定。第2回においては、部会で議論された内容を確認・検討する。第3回においては、本会議の取りまとめを実施予定。

第1回：令和7年5月22日

・・・各部会を1回実施・・・

第2回：令和7年10月頃（予定）

・・・必要に応じて、各部会を追加実施・・・

第3回：令和8年1月中旬（予定）

4. 令和13年度までのスケジュール

令和7年度：主にロジックモデルを用いて検証を実施

令和8年度：必要に応じて、ロジックモデルを再検証しつつ、
ビジョンの中間年度である令和9年度に向けて、施策を再整理する

令和9年度（世田谷区地域経済発展ビジョン中間年度）

：ソーシャルインパクト指標等実績値を評価し、施策を再整理する

令和10年度：ビジョンの最終年度である令和13年度に向けて、施策を再整理する

令和11年度：ビジョンの最終年度である令和13年度に向けて、施策を再整理する

令和12年度：産業基礎調査実施（全事業所調査）。令和14年度以降のビジョン策定会議発足

令和13年度（世田谷区地域経済発展ビジョン最終年度）

：ソーシャルインパクト指標等実績値を評価し、
令和14年度以降のビジョンを策定する

5. その他

※「ロジックモデル」とは、世田谷区地域経済発展ビジョン（別冊）に位置付けられ、政策の方向性を示す各「目指す姿」の実現に向けた道筋や変化を整理したものである。